

授業科目

臨床血液学実習I

担当教員名 大山 富三、長野 茂雄 (非)	対象学年	3	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○		○	○

授業の概要

自動化が進んでいる血液検査ではあるが、用手法による実習を通してその原理と測定技術や染色技術を修得し、得られた結果から臨床的意義とともに血液疾患を推測できる知識を修得する。

授業の目的

1. 血液検査の実習を通して測定原理やその臨床的意義を理解し、得られた結果から血液疾患を類推できる知識と技術を習得する。
2. 臨床検査技師国家試験に合格するために血液検査学の知識を身につける。
3. 将来臨床検査技師として血液検査学に従事した際の血液検査法の基礎技術と基礎知識を修得する。

学習目標

1. 安全かつ正しく採血を行うことができる。
2. 用手法から基本技術を行うことができる。
3. 血球を正確に観察できる。
4. 血球を観察し正しく分類・判定できる。
5. 各種検査の原理及び臨床的意義を説明できる。
6. 検査の基準値を列挙できる。
7. 検査結果から疾患を分類・類推できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-4	末梢血薄層塗抹標本作成	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
5-8	末梢血普通染色標本作成および観察	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
9-10	赤血球数算定・Hb濃度測定・Ht値測定および赤血球指数	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
11-12	超生体染色（網赤血球）標本作成および観察	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
13-14	白血球数算定・好酸球数算定	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
15-16	ペルオキシダーゼ染色標本作成および観察	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
17-18	アルカリホスファターゼ染色標本作成および観察	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
19-20	エステラーゼ染色標本作成および観察	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
21-22	赤血球抵抗試験・赤血球沈降速度	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄
23	自動血球計数装置操作	講義・実習	大山 富三、長野 茂雄

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	最新臨床検査学講座 血液検査学	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2016年	5,400円+税	
	血液細胞アトラス 第5版	三輪 史朗、渡辺 陽之輔	文光堂	2013年	9,000円+税	
参考書						
その他の資料	配布資料					

評価方法

実習週外で実施する筆記試験を80%程度、レポートを20%程度として評価する。
ただし、筆記試験の点数が6割未満の場合は再試験対象とする。

履修上の留意点

上記「授業計画」の項目が変更になる場合もあるので、予め承知しておいてほしい。
臨床技術者にとって重要な臨床科目であるため、知識は勿論のこと技能についても習熟すること。形態観察の際には、アトラスおよびスケッチブックと色鉛筆が必要となる。なお、レポートは全て提出することで評価対象となる。

オフィスアワー・連絡先

授業に関する質問がある場合には、希望する曜日・時限をtomizo-oyama@nuhw.ac.jpまで連絡してください。その後日程を調整したうえでN棟2階202合同研究室まで来てください。